

委員会通信

3 常任委員会 所管事務概要説明を受ける

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月中旬に委員会を開き、所管事務の概要説明を受けました。

文教委員会は5月13日に管内視察を行い、学校給食センターや、今年度到新設された看護専門学校大学化準備室のあるソフィア看護専門学校を視察しました。また、蒲郡市民病院にて事業概要等の現地説明を受けた後、建物内を見学しました。



市民病院で説明を受ける文教委員

総務委員会は5月14日に管内視察を行い、消防本部にて、事業概要等の現地説明を受けた後、建物内を見学しました。

また、デジタル防災無線基地局を視察しました。



消防本部で説明を受ける総務委員

経済委員会は5月15日に管内視察を行い、三谷漁港より船で移動し、スマート牡蠣養殖の現場を視察し、その後、市道五井西郷橋詰1号線の建設現場を視察しました。

また、ボートレース蒲郡にて事業概要等の現地説明を受けた後、本年4月27日にオープンしたコミュニテ

イパークGrunnなど、施設の視察を行いました。



三谷漁港で説明を受ける経済委員

知柄漁港及び周辺エリア 整備基本構想の策定

6月17日に開かれた経済委員会において、知柄漁港及び周辺エリア整備基本構想の策定について報告がありました。

昭和26年に漁港指定された知柄漁港は、古くから水産業の拠点となっています。しかしながら、現在使用している荷捌き施設や鮮魚マーケット（魚市場）の施設の老朽化や、駐車スペース・アクセス道路が狭いこと、近隣に鮮魚を食べられる飲食店もなく資源を有効に活かせていない等の課題

があります。

以上の背景から、地域の特徴や地域経済の活性化に向けた課題などを整理し、知柄漁港を核とした施設の再整備、未利用地の活用等の将来の目標像を示すことを目的として基本構想を策定しました。

基本構想の位置づけとして、第五次蒲郡市総合計画等の上位計画に基づき、本市における関連計画と連携し、対象エリア整備における基本的な方針を示すものとなります。また、対象エリアの整備等に向けた基本方針を「産業と交流の拠点エリアの形成」海業を取り入れた新たな水産業振興と地域資源を活かした体験交流の拠点エリアを目指して」と設定しました。



知柄漁港